

報道記録

【テレビでの報道】

KTS鹿児島テレビ 11月17日(木) ニュース



報道記録

【テレビでの報道】

MBC 南日本放送 11月17日（木）ニュース



報道記録

【新聞での報道】

南日本新聞 11月16日(水)掲載

研究
が検討会
 鹿児島大学工学部 鹿児島大学工学部 鹿児島大学工学部
 鹿児島大学工学部 鹿児島大学工学部 鹿児島大学工学部
 鹿児島大学工学部 鹿児島大学工学部 鹿児島大学工学部

建設業担い手 若者や女性に
 鹿児島市で集い 建設業担い手確保・育成フォーラムが15日、鹿児島市の南

統一「知覧茶」ロゴマークでPR
 2017年度から南九州

下園薩男商店が受賞
 ビジネス大賞

サロシ
 いい夫婦の日 花贈り円満に

期待
 同市茶葉振興会の後藤正

地域情報
 鹿児島市

報道記録

【新聞での報道】

鹿児島建設新聞 11月16日（水）掲載

内田氏が講演 若手育てる環境を (2016/11/16 3面)
担い手確保・育成フォーラム / 県、建協

県と県建設業協会（川畑俊彦会長）は15日、鹿児島市のみなみホール（南日本新聞会館）で産官学の有識者による「建設産業担い手確保・育成フォーラム」を開いた。建設業関係者や行政、市民など約250人が参加。担い手確保や育成に関する課題と方策について熱心な議論を繰り広げた。

今回のフォーラムは、協会が県から受託する2016年度建設産業担い手確保・育成事業の一環として初めて開催。後援は㈱鹿児島建設新聞、南日本新聞社。

冒頭、川畑会長が「建設業は従事している50歳代以上が3割を占め、若手入職者が減少傾向にある。産官学が一丸となって魅力ある産業になるように努めていかなければならない」と話し、協会の担い手確保に向けた取り組みを報告。また、カサリンチュのライブに続いて、主催者を代表して三反園訓県知事が「災害対応など建設業の重要性は認識している。県としても人材確保や担い手育成に向けて、中長期的かつ持続的な支援を行っていききたい」と挨拶した。

基調講演では、建設業振興基金の内田俊一理事長が「待たなしに問われる覚悟 担い手確保にどう向き合うか」と題して講話。

内田理事長は担い手の問題について、「経営者は相当な覚悟で臨まないといけない。オリンピックを迎える2020年以降、担い手不足が一挙に顕在化する」と将来を危ぐ。さらに「現在の年齢別就業者は、55歳以上が34%、29歳以下が10.7%。近い将来、3分の1の人材がいなくなることから、労務倒産が起きるのではないかと考えている」と話した。

また、早期退職者やフリーターが多く存在する現状から「建設産業こそが、その受け皿になってやる必要がある」と話した。そのほか「現在の若者は“やりがい”を求める傾向があるが、その“やりがい”を感じるには時間がかかる」「仕事を教えてくれる先輩や同僚などの存在と、一人前に育てる環境を経営者がつくっていくことが必要」などと訴えた。



報道記録

【新聞での報道】

鹿児島建設新聞 11月16日（水）掲載

県、建協 担い手確保・育成フォーラム (2016/11/16 1面)
建設産業 魅力ある業界へ / 250人が聴講

県と県建設業協会（川畑俊彦会長）主催の産官学の有識者による「建設産業担い手確保・育成フォーラム」が15日、鹿児島市のみなみホール（南日本新聞会館）で行われた＝写真＝。建設業関係者や行政、市民など約250人が参加。建設業界で喫緊の課題である担い手確保・育成に関して、基調講演やパネルディスカッションを通して課題や方策など熱心な議論が繰り広げられた。

